

大菩薩嶺山行報告

【山行日】2018年11月18日(日) 晴れ

【集合】岩舟支所P AM 4:00

【費用】マイカー2台 : 4,100円

【メンバー】CL:鈴木、安西、伊藤、岩淵、大西、
島田、五月女、鶴見、福島、松館、吉田

【コースタイム】岩舟支所P4:00=上日川峠P6:20/6:40~

石丸峠 8:20/8:30~大菩薩峠 9:15/9:30~大菩薩嶺

10:10/10:20 ~ 雷岩 10:30/10:40 ~ 福ちゃん荘

11:20/11:50~上日川峠P12:20/12:30=シャトー勝沼

13:00/13:30=岩舟支所P15:20



山行アンケートで大菩薩嶺のリクエストがあり、紅葉の時期には少し遅いが石丸峠から周遊コースを計画した。中央自動車道勝沼ICで降り、フルーツロードから県道201号線を走り上日川峠に着く。ロッジ長兵衛脇の駐車場は数台の空きスペースがあり、2台とも止めることが出来た。



準備を整えトイレとストレッチを済ませたら出発する。トイレの裏側を下って行き、小沢を横切り姫ノ湯沢を渡渉して登ると県道に出る。さらに山道を登り林道に出て、右に少し行くと山道への入口がある。林道わきの広場で休憩し、衣服調整と水分補給を行う。林道から富士山の頭が雲の上に見え、皆さん大喜びで富士山をカメラに収めていた。ここから本格的な登山道になり、カラ

マツ林の山腹を登って行く。しばらく登るとカラマツ林を抜けて笹原になり、石丸峠に到着する。峠の辺りは一面の笹原で明るく開け、南には3日前に登った小金沢山が大きく聳えている。小休止しリンゴを食べ水分を補給したら、北西側の熊沢山を越えて大菩薩峠に向かう。登りは見晴らしの良い笹原の道、下りは一転して暗い針葉樹林帯の中を下る。山深い感じの道を下るが、長くは続かず間もなく介山荘が建つ大菩薩峠に着く。大菩薩峠にはトイレや休憩舎があり、登山者にはとてもありがたい。休憩舎で大休止し、カキやリンゴをいただきトイレも済ませてから出発する。大菩薩峠の大きな標識の前で記念写真を撮り、雷岩へ向かって快適な尾根道を進む。ここから雷岩までが、本日のコース一番の展望を楽しめる尾根歩きだが、あいにく天気がいまいちで富士山が雲の中に隠れていた。まずは目の前のピーク、親不知ノ頭に登る。ここは峠よりも標高が高いため、展望が素晴らしい場所だが、風が強く寒いので展望を楽しむ余裕は無い。

マツ林の山腹を登って行く。しばらく登るとカラマツ林を抜けて笹原になり、石丸峠に到着する。

峠の辺りは一面の笹原で明るく開け、南には3日前に登った小金沢山が大きく聳えている。小休止しリンゴを食べ水分を補給したら、北西側の熊沢山を越えて大菩薩峠に向かう。登りは見晴らしの

良い笹原の道、下りは一転して暗い針葉樹林帯の中を下る。山深い感じの道を下るが、長くは続かず間もなく介山荘が建つ大菩薩峠に着く。

大菩薩峠にはトイレや休憩舎があり、登山者にはとてもありがたい。休憩舎で大休止し、カキやリンゴをいただきトイレも済ませてから出発する。

大菩薩峠の大きな標識の前で記念写真を撮り、雷岩へ向かって快適な尾根道を進む。ここから雷岩までが、本日のコース一番の展望を楽しめる尾根歩きだが、あいにく天気がいまいちで富士山が雲の中に隠れていた。まずは目の前のピーク、親不知ノ頭に登る。ここは峠よりも標高が高いため、展望が素晴らしい場所だが、風が強く寒いので展望を楽しむ余裕は無い。

大菩薩峠にはトイレや休憩舎があり、登山者にはとてもありがたい。休憩舎で大休止し、カキやリンゴをいただきトイレも済ませてから出発する。

大菩薩峠の大きな標識の前で記念写真を撮り、雷岩へ向かって快適な尾根道を進む。ここから雷岩までが、本日のコース一番の展望を楽しめる尾根歩きだが、あいにく天気がいまいちで富士山が雲の中に隠れていた。まずは目の前のピーク、親不知ノ頭に登る。ここは峠よりも標高が高いため、展望が素晴らしい場所だが、風が強く寒いので展望を楽しむ余裕は無い。

大菩薩峠の大きな標識の前で記念写真を撮り、雷岩へ向かって快適な尾根道を進む。ここから雷岩までが、本日のコース一番の展望を楽しめる尾根歩きだが、あいにく天気がいまいちで富士山が雲の中に隠れていた。まずは目の前のピーク、親不知ノ頭に登る。ここは峠よりも標高が高いため、展望が素晴らしい場所だが、風が強く寒いので展望を楽しむ余裕は無い。



ここから下った所が賽ノ河原と呼ばれる所で、岩屑が堆積していて荒涼とした雰囲気がかかっていた。明治時代初期までは、ここが実際の大菩薩峠であつたらしい。次のピーク妙見ノ頭に登る途中、風



が冷たいので休憩を取って上衣を着こむ。

背の低い笹に覆われた尾根を、徐々に高度を上げながら登って行く。神部岩で富士見新道を左に分けると、まもなく雷岩に着く。大きな岩塊が尾根上に盛り上がった所で、見晴らしが良い場所だが素通りして大菩薩嶺に向かう。

展望のない樹林帯の尾根道を緩やかに登り、日本百名山大菩薩嶺の標識が立つ山頂に着く。

大勢の登山者で賑わっており、写真を撮るのも順番待ちで時間がかかる。山頂は周囲を木に囲

まれて展望は無いが、落ち着いた雰囲気が漂っている。地味な山頂に I 渚さんが「山頂よりも大菩薩峠の標識の方が立派なのはおかしいよね」と不満そう。記念写真を撮ったら往路を戻り、雷岩で休憩を取る。富士山が雲の上に頭を出し、皆さん喜んで写真を撮っていた。風が当たらない場所を確保し、リンゴやナッツをいただき空いたお腹を満す。ここでランチの予定だったが、時間が早く寒いので福ちゃん荘に降りて食べることにする。雷岩から南に延びる唐松尾根を下り、福ちゃん荘に向かって下山する。唐松尾根に入ると、しばらく急な斜面が続き慎重に下る。まだまだ登って来る人が多く、



すれ違いで待たされながら下って行く。

傾斜が緩くなると左下に福ちゃん荘の屋根が見えるようになり、まもなく福ちゃん荘に着く。福ちゃん荘の前のベンチを使わせてくださいとお願いすると、「どうぞ脇の屋根つきのテーブルを使ってください」と快く使わせてくれた。

全員がテーブルの周りに座れ、すいとん鍋を囲んで賑やかにランチを楽しめた。福ちゃん荘でお土産を買い、奥さんにお礼を言って下山する。小屋の横から登山道を下り、緩やかに

アップダウンを繰り返すと上日川峠に着く。靴を履き替えトイレを済ませたら車に乗り、シャトー勝沼に向かった。シャトー勝沼でワインやジュースを試飲し、レーズンやチーズの試食を楽しみワインをゲットする。女性達は向かい側にあるパン工房に寄り、パンをゲットしてニコニコ顔で戻ってきた。帰路は予定よりも早く出発でき、高速道の渋滞も無く順調に走り、狭山 PA に寄っても予定より2時間早く岩舟支所に帰着出来た。